第４学年１組　学級活動（１）学習指導案

北九州市立小石小学校

１　議題　「笑顔いっぱい！スポーツフェスタがんばったね集会をしよう。」

２　議題について

（１） 児童・生徒の実態

本学級の児童（男子８名、女子１１名）は明るく元気で、友達を大切にする子どもが多い。５月に今年度の目指すべき姿について学級全員で話し合い、「心：活気と楽しさ　言：優しい言葉づかいとあいさつ　関：思いやりと助け合い　学：めりはりをつけて学び成長する」という学級目標を設定した。この学級目標を意識して、節度のある学校生活を日々送ることができている。

これまでの学級会では、「係活動を決めよう。」「４の１オリジナルキャラクターを決めよう。」「雨の日の室内で、みんなでできる遊びを考えよう。」「帰りの会をよりよくしよう。」などの話合いを行った。子ども達は理由をつけて意見を述べたり、基本的な司会進行や黒板記録をしたりすることができている。また、話合いが滞るときもあるが、担任の力を借りて解決しようとするなど、子ども達が主体的に学級会を進めようとする姿勢も見られる。しかし、時間内に話合いが終わらないことや、友達の意見を少しでも多く取り入れようとした結果、現実的でない結論や、事前に確認した条件に合わない結論に至ってしまうことが多くあった。これら課題を解決するために、タイマーを活用して全員で時間を意識して進めることや、条件や提案理由を掲示し、視覚化することで意識しながら話合いを進めることを継続して指導しているところである。

（２） 議題選定の理由

本議題は「みんなで頑張って作り上げたスポーツフェスタのお楽しみ会を３年生と一緒にして、さらによい思い出として残したい。」という児童の思いから提案された。３年生と共にスポーツフェスタに向けて２学期当初から準備を始め、ダンスの隊形や入退場の仕方を考えるなどして、子ども達自身がスポーツフェスタを作り上げてきた。本番も練習の成果を十分に発揮し、保護者へ日頃の成果を披露することができた。多くの時間をかけて準備と練習に励み、本番終了後は達成感の余韻に包まれているうちに、３年生とお楽しみ集会をしたいという思いが学級全体で高まっていった。このことを受けて、計画委員会で話合い、議題として選定された。

今回は「お互いの頑張りを労い、スポーツフェスタの思い出をよりよいものにする。また、３年生との仲をさらに深める。」という目的意識をもち、みんなで話し合って決めたことをもとに、協力して実践する楽しさを十分に味わわせていきたい。

３　目標

知識及び技能	○　計画委員会の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して学級会の準備をすることができる。 ○　合意形成したことをみんなで協力して実践することのよさを理解することができる。

思考力、判断力、表現力等	○　提案理由やめあてを意識しながら意見を比べ合い、合意形成を図ることができる。 ○　話合いの流れに即した考えをもつことができる。
学びに向かう力、人間性等	○　よりよい結論が出るまで、粘り強くあきらめずに話合い活動に協力しようとする。 ○　話合いの結果に基づき、楽しんで活動しようとする。

4　評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	○　計画委員会の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して学級会の準備をしている。 ○　合意形成したことをみんなで協力して実践することのよさを理解している。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○　提案理由やめあてを意識しながら意見を比べ合い、合意形成をしている。 ○　話合いの流れに即した考えをもっている。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○　よりよい結論が出るまで、粘り強くあきらめずに話合い活動に協力しようとしている。 ○　話合いの結果に基づき、楽しんで活動しようとしている。

5　事前の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
10月8日（昼休み）	1　計画委員会で議題を選定し、議題を決定する。（計画委員会）	○　真剣に話し合うことができるように、提案された議題のよさと必要性を考えて選ぶように助言する。	【主】計画委員会の役割を理解し、進んで取り組もうとしている。（発言内容・行動観察）
10月9日（昼休み、帰りの会）	2　柱、話合いのめあてなどを決めて、学級全体に知らせる。（計画委員会）	○　みんなで1つの内容を決める話合いができるように、学級の課題を意識させながら、柱や話合いのめあてを考えるように助言する。	【思】提案理由に沿って、全員で話し合いたい内容を決定している。（発言内容・行動観察）
10月10日（学活）	3　議題、提案理由、柱、めあてを確認し、自分の考えを学級会ノートに書く。（全員）	○　自分の意見をもって話合いに参加できるように、提案理由やめあてを意識して考えるように助言する。	【思】提案理由やめあてを意識して、自分の考えを学級会ノートに書いている。（ノート分析）
10月11日（中休み、昼休み）	4　学級会ノートに書かれた意見を整理し、話合いの準備や練習を	○　司会や黒板記録、ノート記録の仕事が理解できるように、話合いの進め方シートを活用する。	【知】自分の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して準備をしている。（発言内容、行動観察）

	する。 （計画委員会）	○ フロアの児童が意見を述べやすくするために、全員の学級会ノートに目を通しておき、必要に応じて、意見の仲間分けをしておく。	
10月15日 （昼休み）	５　学級会のリハーサルを行う。 （計画委員会）	○　見通しをもって自分の役割ができるように、話合いの進め方シートを活用しながら、学級会の進め方の確認をする。	【知】自分の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して準備をしている。 （発言内容、行動観察）

６　本時の学習

（１）日時　令和６年１０月１６日（水）５校時　於　４年１組教室

（２）主眼

「笑顔いっぱい！スポーツフェスタがんばったね集会をしよう」の内容を話し合う活動を通して、提案理由や話合いのめあてを意識して意見を出し合い、比べ合いながら、みんながより楽しく過ごすことのできる内容を決めることができる。

（３） 見方・考え方を働かせている児童・生徒の姿

提案理由や話合いのめあてを意識して、よりよい結論に向けて合意形成を図ろうとしている姿

（４）準備

教師：黒板掲示用プレート（議題、提案理由、柱１ 、柱２ など） 、 GIGA 端末

児童：学級会ノート（全員）　話合いの進め方シート、学級会グッズ（計画委員会）

（５）展開

第６回学級会　活動計画	
議　題	「笑顔いっぱい！スポーツフェスタがんばったね集会をしよう。」
役　割	司　　会（　）（　） 黒 板 記 録（　）（　） ノート記録（　）　提　案　者（　）
提案理由	３年生とダンスなどをがんばって、スポーツフェスタを盛り上げたから、いっしょにスポーツフェスタのお楽しみ会をしたいと思いました。３年生ともっと仲よくなって、思い出を作りたいので提案しました。
めあて	・決まっていることに気を付けて発表しよう。 ・３年生も４年生も、スポーツフェスタが思い出せるような集会になるように話し合おう。
決まっていること	日　時：10月下旬 場　所：体育館 参加者：3年生と4年生 内　容：遊びは１つ15分。プログラムに沿って２つ決める。
学習活動	○　指導上の留意点　　【観点】評価規準（評価方法）

1 はじめの言葉	○　めあてや提案理由などを意識しながら話合いができるように、議題、提案理由、話合いのめあてなどは、事前に模造紙や短冊に書き、黒板等に掲示しておく。
2 司会グループの紹介をする。	○　自分の役割と頑張ることを発表することで、自分なりのめあてをもって取り組むことができるようにする。
3 議題と提案理由の確認をする。	○　みんなの思い出に残すという目的を意識して話し合うことができるように、議題と提案理由を確認して、提案者の思いや願いを学級全体で共有する。
4 めあての確認をする。	○　めあてに沿って話合いができるように、全員で声に出して読むようにする。
5 決まっていることの確認をする。	○　全員が同じイメージをもって話し合えるように、決まっていることを確認する。
日　時：10月下旬 場　所：体育館 参加者：3年生と4年生 内　容：遊びは1つ15分。プログラムに沿って２つ決める。	
6 話合いをする。 柱1 「記念品（メダル）に入れるイラストを決めよう。」 柱２ 「どんな遊びをするのかを決めよう。」（２つ）	○　話合いの状況を視覚的に理解しやすくするために、分かり合うでは、賛成・反対マークや短冊黒板などを活用して、児童の意見を黒板に分かりやすく整理するよう、必要に応じて助言する。 ○　意見が出ないときは、意見を出しやすくするために、小グループの話合いを取り入れるように、司会の児童に助言しておく。 ○　まとめるでは、それぞれの意見のよさに着目しながら話合いができるように、合意形成のツールとして賛成・反対マークや短冊黒板などを活用しながら、話合いをまとめるようにする。 【思】提案理由や話合いのめあてを意識しながら、多様な意見を生かしてよりよい結論に向けて合意形成を図ろうとしている。（発言内容・行動観察）
7 決まったことの確認をする。	○　決まったことを分かりやすく伝えることができるように、ノート記録の児童には、「決まったことの発表カード」を活用して話すように声をかける。
8 振り返りをする。	○　「友達のよいところ」「話し合う前と比べて変わったこと」「これから頑張りたいこと」など、振り返りの視点を示すことで、話合いを通して感じたことを具体的に書くことができるようにする。
9 先生の話を聞く。	○　今後の活動への意欲を高めることができるように、提案理由やめあてを意識した発言、友達の思いを大切にしていた発言、頑張った計画委員会を称賛する。

（6）評価の様相

区　分	様　　相
十分満足できる状況	提案理由や話合いのめあてを意識しながら、自分の意見を伝え、よりよい結論に向けて合意形成を図ろうとしている。
おおむね満足できる状況	教師の支援を受けて、提案理由や話合いのめあてを意識しながら、自分の意見を伝え、よりよい結論に向けて合意形成を図ろうとしている。

7　事後の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
10月中旬	1　役割分担をして、「スポーツフェスタおつかれさま集会」の準備する。	○ 児童が協力したり助け合ったりして楽しく活動することができるように、全員で役割を分担して準備を進める。	【主】合意形成したことを基に、自分の役割を意識しながら友達と協力して活動しようとしている。 （発言内容・行動観察）
10月下旬	2 「スポーツフェスタおつかれさま集会」をする。	○ 集会のめあてを意識しながら、自分の役割を果たしたり、協力して活動したりすることができるように声掛けをする。	【知】自分の役割を理解して集会に参加し、活動を楽しんでいる。
10月下旬	3 振り返りをする。	○ 実践を振り返り、満足感や達成感を感じたり、新たな目標や課題を意識したりすることができるように、児童の努力や意欲などを積極的に認めたり、児童のよさを学級全体で伝え合ったりする。 ○ 児童が実践を通して自己のよさや成長に気付くことができるように、レーダーチャートを活用する。	【知】合意形成したことをみんなで協力して実践することのよさを理解している。 （発言内容・ノート分析）